

烏帽子の会 による 烏帽子岳 登山

2017年8月4・5日

烏帽子の会 7月例会は、16年前に登り「烏帽子の会」発足のきっかけとなった烏帽子岳（2628m）を、思い出をかみしめながら登る計画と決定した。 かしながら、当日不都合な方も多くいて参加者は7人と少し淋しい登山行となった。 4日Kさんご夫妻のリードで7人全員K車にて大町 5:30 出発、七倉ダムよりタクシーに分乗し、高瀬ダムへ向かい、いざ 6:20 烏帽子岳へ向けて登山出発。 ブナ立尾根登山口からはその名の通り、



ブナ立尾根急登をどっこいしょ

急な登りの連続で、全員息を切らせながらの歩行となった。 12から始まる標識に、11・10と一つずつ数字が小さくなる事を励みに登り、途中出会った下りの人からの「ケルンを過ぎると楽になりますよ」の声に元気を頂き、烏帽子小屋を目指した。 実際はケルンを過ぎても楽にはならなかったが、



やれやれでちょっと一服

急登の疲れはあるが、樹林帯の中が多く、曇り空で日射しもあり強くなく、汗はたくさん掻いたが暑さをそれほど感じずに登れ、三角点を 11:10 通過、13:20 に烏帽子小屋に到着。



登りの疲れからひと時解放され安らぎの昼食

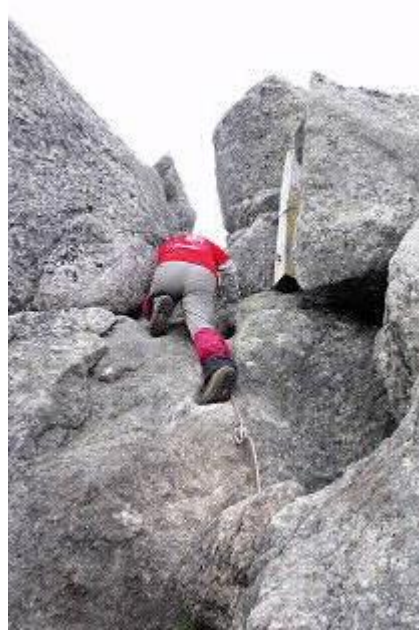
小屋に到着すると、すぐにイワギキョウのお花畑が目に飛び込み、疲れを早々にいやしてくれた。 今年には雪が多かったそうで、コマクサやチングルマ等のお花もまだ残って咲いていて目を楽しませてくれた。 小屋に荷物を預け、13:50 に烏帽子岳頂上へ向けて出発。 途中前烏帽子を通過し、いざ烏帽子岳の登山口に到着し、危険な鎖場やロープに頼る登りで、躊躇しながら、スリルを味わいながら一人一人挑戦。 15:20 には全員登り切れた。



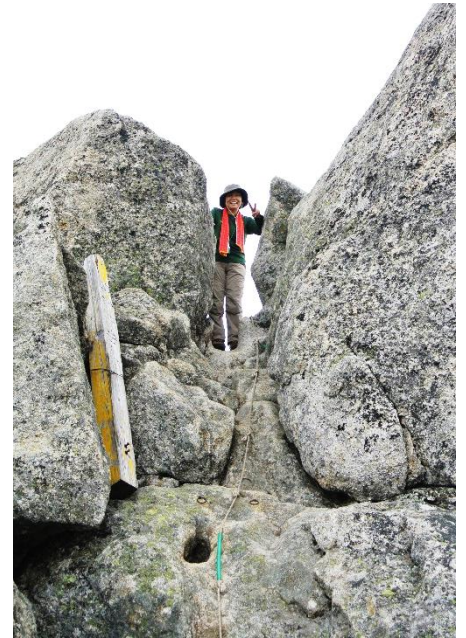
烏帽子小屋前のイワギキョウのお花畑



烏帽子岳の崇高なる雄姿



ロープを使って頂上へ挑戦



烏帽子頂上に着いたぞ



烏帽子岳を背の予定が急なガスで頂上は見えず

当日の夕食には小屋よりビールの差し入れもいただき、心地良い食事となり楽しめた。夜の雨を心配したが、夜中には満天の星も臨め、朝の好天に期待が持てた。

5日の朝はご来光が拝め、赤牛岳に映る烏帽子岳の影がくっきりと現れ、遠くに八ヶ岳、煙を吐く浅間山、近づいて燕岳・有明山等の景観を楽しめた。



烏帽子岳からのご来光



小屋オーナーの上條さんを囲んで

朝は烏帽子小屋を 7:00 出発、順調に下り 8:20 三角点、途中アサギマダラを多数観察しながら 11:20 登山口、11:50 高瀬ダム、12:05 七倉山荘入浴で疲れを癒し、大町 14:00 到着。

これで正式に「烏帽子の会」会員になれた気持ちである。お導きいただいたKご夫妻有難うございました。

「そそり立つ 烏帽子山頂 極めての 臨む景色に 心晴れ晴れ。



美しいアサギマダラ